

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2023年11月27日
第47号

選手権全道で札東商に快勝



笑顔はじけるバレーボール部員、双葉ポーズで

全道で勝ち続けられるチームに 女子バレー部が決意

11月15日、16日、第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦の1回戦に札東商業と対戦し、2-0で勝ち、2回戦は白樺に0-2で敗退した。主将の森あずさんに話を聞いた。

丸山さん流れ変えた

札東商戦は「今までで一番良い試合ができた。個人のプレー、チーム全体の雰囲気も素晴らしいかった。2セット目はリードされていたが、巻き返すことができた。丸山桐果さんのサブからチームの流れが変わった。3年生の丸山さんと森田愛羅さんが活躍し、それを1・2年生が支え、勝つことができたと思う。」と語った。

白樺学園は強豪校、「気持ちの面で弱い部分が出てしまった。練習してきたことを活かせなかった。いつも通りのバレーができなかった」と悔しさをにじませた。

やる気、勇気、元気、根性 全道で勝ち続けたい

今後は「練習の時から試合をイメージし、決定点を上げていきたい。大会の2日間は、「やる気、勇気、元気、根性」を合言葉に頑張った。大会の3日目の練習で中村先生からいただいた言葉で、この言葉を胸に全道で勝ち続けられるチームに成長したい」と語っている。

選手

2-2	森あずさ	本郷里奈	本間陽香	福原花菜	前田心優	波木ひな	森田愛羅	丸山桐果
2-4								
1-3								
3-3								
3-4								

小樽切り絵カルタ②



開拓の遺産となれり 機関車庫
北海道で最初の鉄道、旧手宮鉄道の施設が小樽市総合博物館に展示されている。国の重要文化財に指定されている。「しづか号」もある。

かぞえ歌 潮音頭に 夏浴衣

夏の一大イベント「潮まつり」。小樽の風物を数え歌とした潮音頭に合わせて、浴衣姿の潮ふれこみ、潮ねりこみが行われる。花火も盛大だ。

ガラス玉 ランプ、グラスに 美術館

ガラス工芸は漁業用の浮玉から始まり、ランプを製造していた北一硝子が注目され、人気に火がついた。美術館とともに観光客が集まっている。

北前船 小樽を発って 大阪へ

江戸から明治まで北前船が北海道、東北、北陸、瀬戸内、大阪を周り、各地の特産物を買入れ売った。小樽からは鯨の肥料を積み出した。

栗林 縄文人も 栗拾い

手宮公園には秋に栗拾いに市民が訪れる。忍路土場遺跡(縄文後期)からは大量の栗が見つかった。縄文の人々も栗拾いしたのだろう。

毛無山 海の向こうに 増毛山

小樽と赤井川の境に位置する毛無山。はげ山ではない、緑豊かな山だ。展望所からの眺めがよい。対岸には増毛連山があるのが面白い。

コルク抜き 香るワインは 地の恵み

1979年、ドイツから苗木を移植し始まったワイン造り。生食用のナイアガラがヒットし、非加熱の愚直なワイン造りに根強い人気がある。